

年間授業計画

教科:(機械)科目:(機械製図) 単位数:(2単位) 対象:(第1学年M1組・M2組)

教科担当者:(M1組:石井 眞 ⑩ 金子 祐治 ⑩) (M2組:高野 浩二 ⑩ 樽味 浩一 ⑩)

使用教科書:「工業数理基礎(実教出版)」

1年間の計画を確認した後押印

教科	教務	副校長	校長

	指導内容 【年間授業計画】	科目機械製図の具体的な指導目標 (自校のスタンダード) 【年間授業計画】	評価の観点等	予定 時数
4 月				0
5 月	第1章 製図の基礎 1 機械製図と規格	<ul style="list-style-type: none"> ・図形・図・図面および製図の意義を把握させ、図面の役目、その目的と機能とは何かを理解させる。 ・製作図は、製作者に正しく伝達する役割を果たさなければならないので、図面の内容を誤りなく伝えるためには、機械製図および関連する規格を理解し、活用するように学習させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・機械製図を自分の言葉で説明できる。 ・J I S規格・製図用語を用いた授業を理解できる。 	8
6 月	2 図面に用いる文字と線 3 製図用具とその使い方 4 基礎的な図形のかき方	<ul style="list-style-type: none"> ・図面に用いる文字と線について、正しく、きれいに、迅速にかけるよう習熟させる。 ・線の種類は、用途によって形や太さが違うので、間違いのないように明瞭にかかせる。 ・製図用具の正しい使い方を身につけさせる。 ・製図用具・製図器を用いて最も基本的な図形をかく方法を理解し、正しい作図ができるようにしたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・製図練習ノートに関連する課題に取組ませ、正しく・きれいで明瞭にかかっていること。 ・練習ノートが明瞭にかかっている。 ・製図練習ノートに関連する課題に取組ませ、正しく・きれいで明瞭にかかっていること。 	8
7 月	5 投影図のかき方	<ul style="list-style-type: none"> ・製図用具の正しい使い方を身につけさせる。 ・投影図は、製図の基礎であるので、時間をかけ、確実にかけるように数多くの問題を解答させることによって、しっかり学習させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・練習ノート等が明瞭にかかっている。 ・練習ノート等により反復練習を行った結果、正解率が向上している 	6

	指導内容 【年間授業計画】	科目機械製図の具体的な指導目標 (自校のスタンダード) 【年間授業計画】	評価の観点等	予定 時数
9 月	3 製図用具とその使い方 5 投影図のかき方	<ul style="list-style-type: none"> ・製図用具の正しい使い方を身につけさせる。 ・投影図は、製図の基礎であるので、時間をかけ、確実にかけるように数多くの問題を解答させることによって、しっかり学習させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・練習ノート等が明瞭にかかかれている。 ・練習ノート等により反復練習を行った結果、正解率が向上している。 	10
10 月	3 製図用具とその使い方 6 立体的な図示法	<ul style="list-style-type: none"> ・製図用具の正しい使い方を身につけさせる。 ・等角図に重点をおき指導をする。投影図から等角図をえがく反復練習を行い、投影図の理解も深める。 ・キャビネット図のかき方と特徴を理解させ、併せて等角図によるテクニカルイラストレーションの概略を学習させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・練習ノート等が明瞭にかかかれている。 ・練習ノート等により反復練習を行った結果、正解率が向上している。 ・教科書の課題に取組み、かくことができる。 	8
11 月	3 製図用具とその使い方 6 立体的な図示法	<ul style="list-style-type: none"> ・製図用具の正しい使い方を身につけさせる。 ・等角図に重点をおき指導をする。投影図から等角図をえがく反復練習を行い、投影図の理解も深める。 ・キャビネット図のかき方と特徴を理解させ、併せて等角図によるテクニカルイラストレーションの概略を学習させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・練習ノート等が明瞭にかかかれている。 ・練習ノート等により反復練習を行った結果、正解率が向上している。 ・教科書の課題に取組み、かくことができる。 	8
12 月	7 展開図	<ul style="list-style-type: none"> ・角柱の展開図を反復練習により理解させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書の課題に取組み、かくことができる。 	6

	指導内容 【年間授業計画】	科目機械製図の具体的な指導目標 (自校のスタンダード) 【年間授業計画】	評価の観点等	予定 時数
1 月	第2章 製作図 1 製作図のあらまし 2 図形の表し方	・正投影法の図示法の理解のもと、いろいろな図形の表し方を身につける。	・教科書の製図例を見て製作図のどの情報を記した図面なのかが把握できる。 ・教科書の製図例を理解しながらかくことができる。	4
2 月	2 図形の表し方	・正投影法の図示法の理解のもと、いろいろな図形の表し方を身につける。	・教科書の製図例を理解しながらかくことができる。	6
3 月	3 寸法記入法	・基本的な寸法記入法について理解する。	・基本的な寸法記入法を理解したうえで、図面がかける。	6